

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長(笹田)	佐藤 光夫
環境-28 笹田リサイクルセンター管理運営事業		■ 自治事務	主管課	環境センター(笹田リサイクルセンター)
		■ 法定受託事務	関連課	環境部各課
総合計画上の位置付け	分野	3Rの推進・ごみの適正処理	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。
効果	ごみの発生抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

2 平成26年度に実施した事業の概要

廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笹田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行う。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人口等のデータ	事業の対象者数	人口等のデータ	事業の対象者数	
人口	177,243人		177,464人		・各年3月31日(住民基本台帳)
世帯数	80,676世帯		80,368世帯		
事業の対象者数	177,243人		177,464人		
運営資源状況	当初予算(千円)	148,441	決算値(千円)	140,416	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	49,651	その他	58,169	
	一般財源	98,790	一般財源	82,247	
事業経費運営	人員配置数	3.5	人員配置数	3.5	
	人件費(千円)	27,207	人件費(千円)	26,312	
	総事業費(千円)	175,648	総事業費(千円)	166,728	
市民1人当りの経費(円)	991	市民1人当りの経費(円)	940		
対象者1人当りの経費(円)	991	対象者1人当りの経費(円)	940		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	電気使用量の目標値を達成する。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	施設の適切な維持管理、効率的運転等を行い、電気使用量の削減に努め、目標を達成した。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題		

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー	NPO法人 鎌倉リサイクル推進会議

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 廃棄物の減量・資源化に関する啓発を行うとともに、施設の適切な維持管理を今後も実施していかなくてはならないため。	
総評	一般廃棄物処理の性格から、適正かつ安定的な処理が不可欠である。そのため、今後も施設の適切な維持管理、効率的な運転に努めていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	電気使用量の削減						単位	kwh	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
施設を管理する上で、電気の使用は不可欠であるが、節電等の実施は考える必要がある。(街路灯は除く)	目標値	380,000.0	380,000.0	375,000.0	370,000.0	365,000.0	360,000.0				
	実績値	319,910.0									
	達成率	84.2%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	施設を管理する上で、電気の使用は不可欠であるが、市職員及び委託作業員による節電への積極的な努力は必要であり、また各機器の運転操作等の見直しにより、更なる削減が見込まれるよう周知・実施を行っていきます。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---